

# 幼稚園の大詔奉戴日に就て

東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事

倉 橋 惣 三

本年一月から實施せられることになつた月々の大詔奉戴日を、幼稚園としては、さういふ風に行つたらいふであらうか。その式次第は、一定して公示せられてゐるのでないが、定められてある實施要旨に基いて、その場所に適切に考慮實行せられてよいことと思はれる。その中心が、詔書の奉讀にあることは言ふまでもない。

さて幼稚園としては、國民學校の通りでも却つて幼児に徹底し難いかも知れない。但し、國民學校の附設であつて國民學校といつしよに合せて行はれる時は、幼児に分る分らんは別として、嚴肅な式に列するさいふことで、大に意義も効果もあることであらう。幼稚園が獨立に此の日を守る場合は、おのづから、幼稚園にふさわしい次第も考案せられてよろしいであらう。

一月八日の第一の大詔奉戴日に、東京女子高等師範學校附屬幼稚園では、次のやうな次第で行つた。本校としては大講堂で行はれ、幼稚園は從來の興亞奉公日にも別に行つてゐるから、今度からも幼稚園遊戯室で行つた。

大詔奉戴日次第

- 一 敬禮
- 一 宮城遙拜
- 一 國歌齊唱
- 一 詔書謹話(主事)
- 一 祈願(主事)
- カミサマ
- ニツボンノ クニヲ オマモリクダサイ
- イクサチ シテキマス ニツボンノ ヘイタイタチ
- ヲオマモリクダサイ
- エウチエンノ ミンナデ オネガヒマウシブゲマス。
- 一 祈念(一句ツ、主事が先ツ言ヒ幼児一同ニテ言フ)
- ニツボンハ ツヨイ
- コノイクサニ キツト カツ
- ワタクシタチモ キツト ヨイコニ ナリマス。
- 一 愛國行進曲合唱
- 一 敬禮

これは、當日の朝の新聞に、大政翼賛會から示されてあつた次第に、大體従つた譯である。

一番中心の詔書奉讀を、幼児によく分るやうに、詔書講話にかへた。従つて、その後で、更に訓話といふ次第を置かないことにした。但し、詔書講話をさうするかは、慎んで考究を要することである。本誌「幼児の母」の中に、家庭に於ける講話の仕方に就て參考として私見を載せて置いたが、素よりこゝにいふことに限つた譯のものでもない。詔書の御趣旨を謹んで、幼児の精神に傳へ得たいのである。

祈願は必勝祈願であるといふまでもない。本園では支那事變以來、毎月の興亞奉公日に、斯ういふ言葉で幼児と共に祈願してゐるから、そのまゝをつゞけることとしたのである。默禱といふ譯であるが、幼児としては、その内容が短い時間の中へ、ましまつた形で盛りつくすこともむづかしからうと思つて、主事が一同の心を代表して、この言葉を以て祈願することにした。此の間、幼児一同は謹んで稽首してゐるのである。こゝにお呼びかけ申す「カミサマ」は、本園としては、天照皇太神宮様、明治神宮様である。

祈念とは幼児達が自分の心に深く念じ、強く誓ふことであると思ふ。そこで、幼児達も、きつて斯う念じ、斯う誓つてゐるに相違ないと思はれるところを、つぎめて簡潔な

又、出来るだけ強い言葉にあらはして、この言葉にした。

これは三段に分れてゐる。そこで、主事が先づ第一段をはつきり言ふ。それにつゞいて、幼児達が揃つて、強い聲でいふ。次に第二段、次に第三段、同様にする。一月八日には、始めてのことであり、幼児達にまつては突然の仕方であつたから、いつもの復誦の形になつたが、實は、この言葉は、幼児達の各自の心の中から出る言葉である。一月八日の最初から、そゝいふ感じは、しつかり幼児達の嚴肅な顔にうかゞはれた。

之れで、大政翼賛會で示してゐる次第は一通り済んだ譯であるが、八日の正午、情報局は大政翼賛會共同主催で日本放送協會から放送せられた國民大合唱のころを探つて、みんな「愛國行進曲」を、大聲に合唱することにした。そして最後の敬禮で結んだが、此の間、初めの敬禮から結びの敬禮まで、幼児一同立つてゐるのである。

以上は、申すまでもなく、一定の型でも何んでもない。文部省直轄の幼稚園といふやうなことでなく、たゞ一例として、御參考になればいゝと思ふ。御參考なきといふよりも實は、私のこゝろでは斯うしますといふことだけを、ただそのまゝに書いただけである。形はこゝろであらうとも、此の日の大切な精神は、是非幼稚園でも、嚴肅に、力強く、職員幼児一同で感銘と感激を新たに盛り上らせなければな

らない。

此の日、國旗掲揚は申すまでもないが、一日を式で終るさか、格別の行事日にするさかいふことではない。實施要項として職域奉公といふ項がある通り、いつもの生活のままで守るのが、此の日の本旨である。戦線では此の日も一刻一秒の裕餘も、間隙もなく、戦ひつゞけられてゐるのである。幼稚園でも常の保育を充實するのである。

尙ほ序に添へて申したいことは、此の日は必ずしも學校さか幼稚園だけのごきでなく、國民生活の日、家庭生活の日であるから、家庭に於てその心を充分徹底されるやう、幼児の家庭に注意するのも、幼稚園の任務であらう。殊に、二月と三月は、八日が日曜日になつてゐる。幼稚園では此奉戴式が行はれない。家庭で、しつかり行つて貰はなければならぬ。

## 保育實習科生徒募集

(官報抜萃)

本年四月入學セシムベキ保育實習科生徒ヲ募集ス  
其要項左ノ如シ

昭和十七年一月

東京女子高等師範學校

一、募集人員 凡ソ二十四名

二、出願期限 二月一日ヨリ三月十日マデ

三、學 資 學資ハ總テ自費トシ授業料年額金  
五十五圓ヲ徵集ス

四、選抜試験 入學志願者ニ對シテ學科試験、身

體検査、人物考査ヲ行フ

1、學科試験 國語(解釋、作文)、理科(物理、電氣

ニ關スル事項ヲ除ク)、

圖画(自在畫)、音樂 (唱歌)

2、期日 本年三月十七、十八ノ二日間

3、場所 東京女子高等師範學校

(附記)出願ノ手續其他詳細ノ事項ハ之ヲ記載セル印  
刷物ヲ用意セルニ付其送付ヲ希望スル者ハ參錢郵券  
ヲ貼附シ宛名ヲ記載セル封筒ヲ添へ本校教務課ニ請  
求スベシ